

第9回・県芸術祭



日本画
写真
書道
洋画
美術工芸
彫塑
商業美術

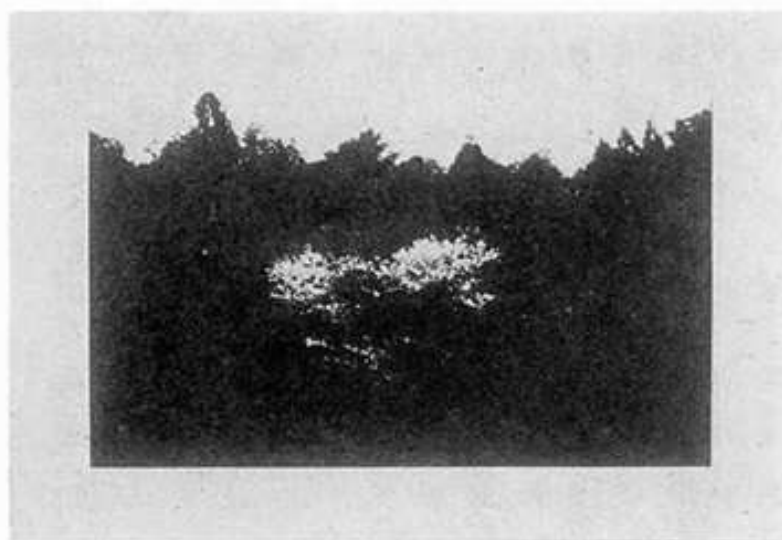
第30回 徳島県美術展

会期／11月8日(土)～16日(日) 毎日午前10時～午後5時

会場／徳島県郷土文化会館

主催／県教育委員会・徳島新聞社・県芸術祭執行委員会・県美術家協会

写真

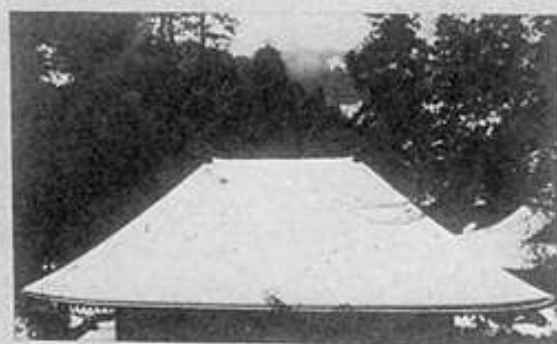


招待 ひとり静 福島正仁



招待 野火 増田清次

招待
宝生寺初春
井上光雄

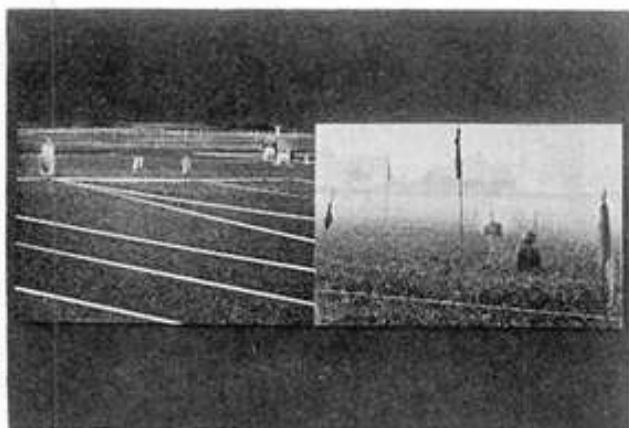


招待 父の死 木田英之

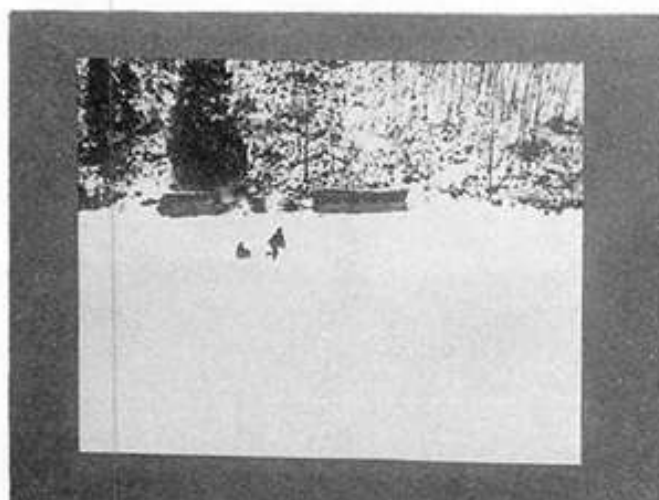


招待 少年の日 勝西雅夫

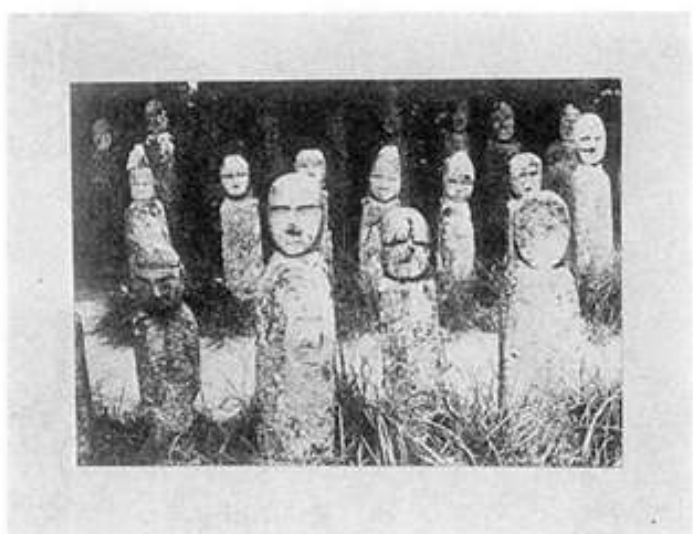
招待
稔りの秋 藤井 梵



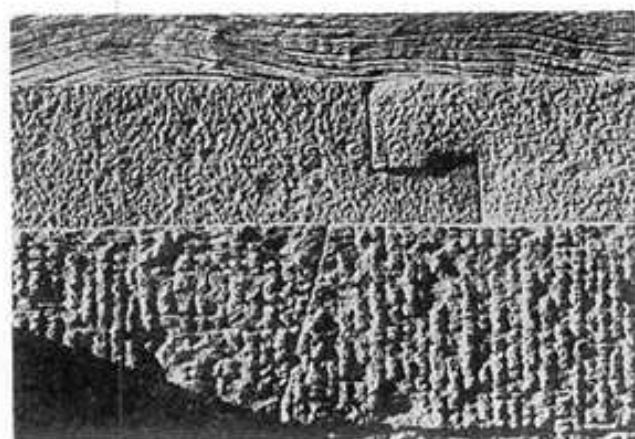
招待 国分寺残照 西条征二



無鑑査 雪国のこども 楠 武



無鑑査 憂愁石仏 酒井博司



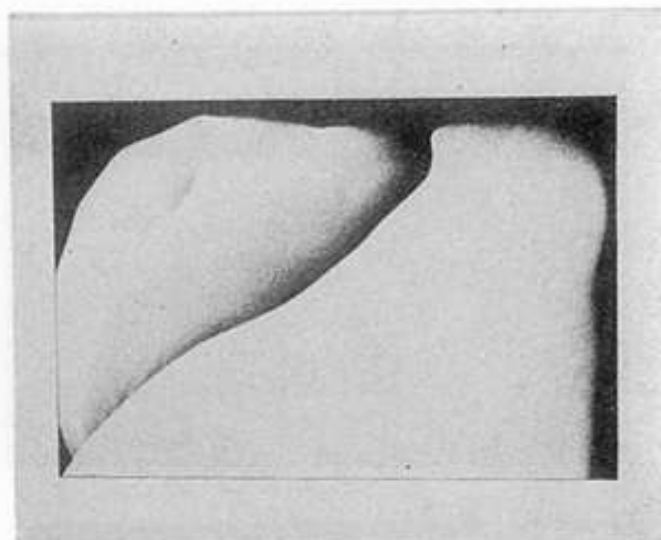
無鑑査 阿波国分寺 武内 亨

無鑑査
ひまわり 笹田敏雄

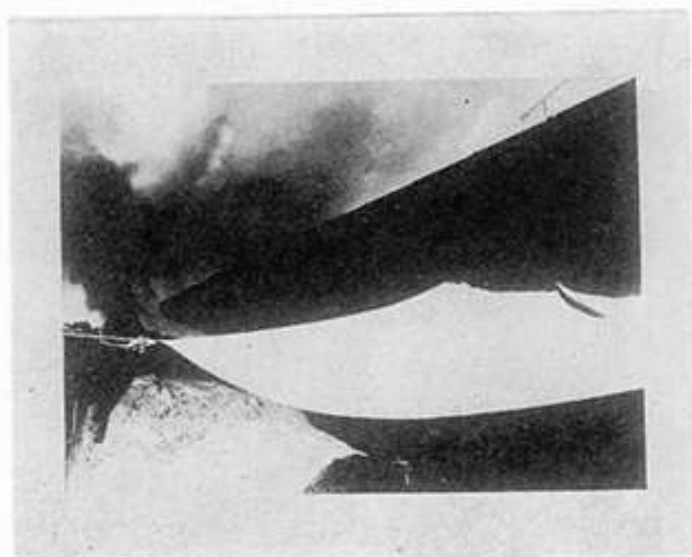


特選
北灘漁民
三好和義

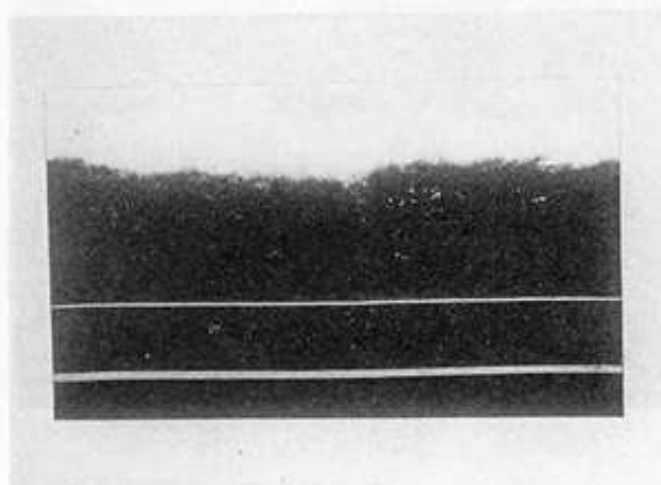




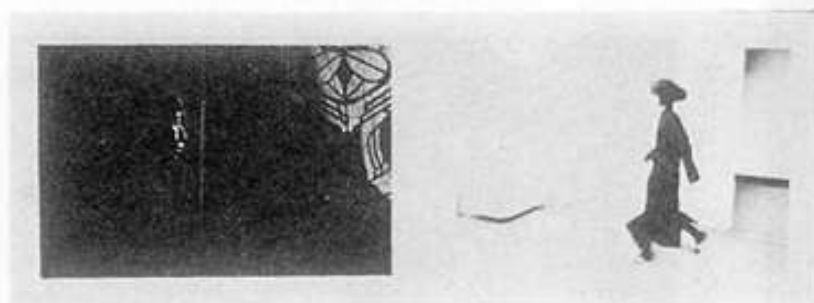
特選 海のオブジェ 櫛渕 魏



特選 炎 暑 中川定典



特選 樹林と国道 上野照文



特選 黒子（文楽より） 三好和義



特選 現代学生像 吉川忠久



特選 潮 山下勝正

特選

女

山下勝正



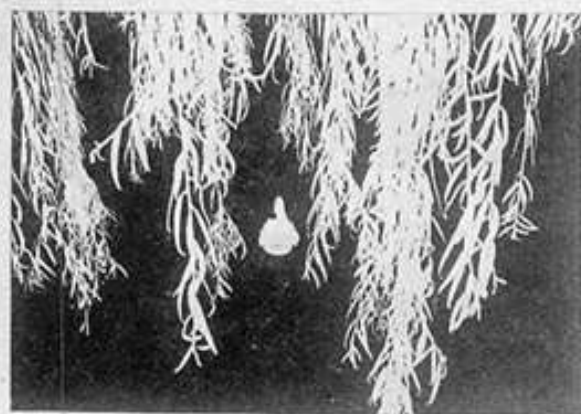
準特選 島の祭り
三好和義



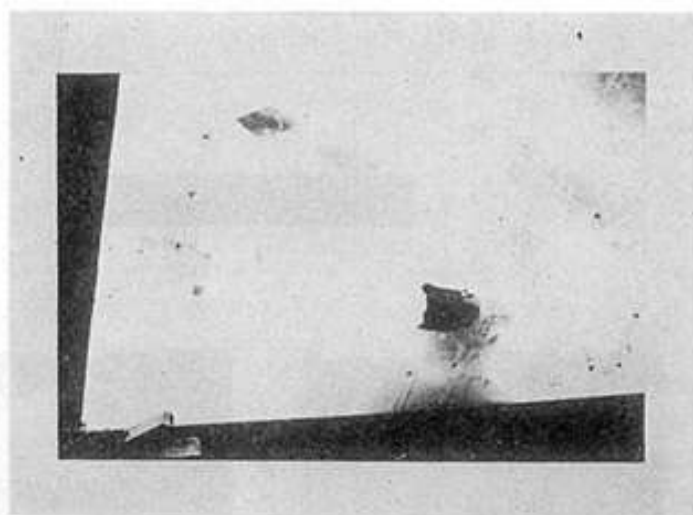
準特選

沖縄の若者

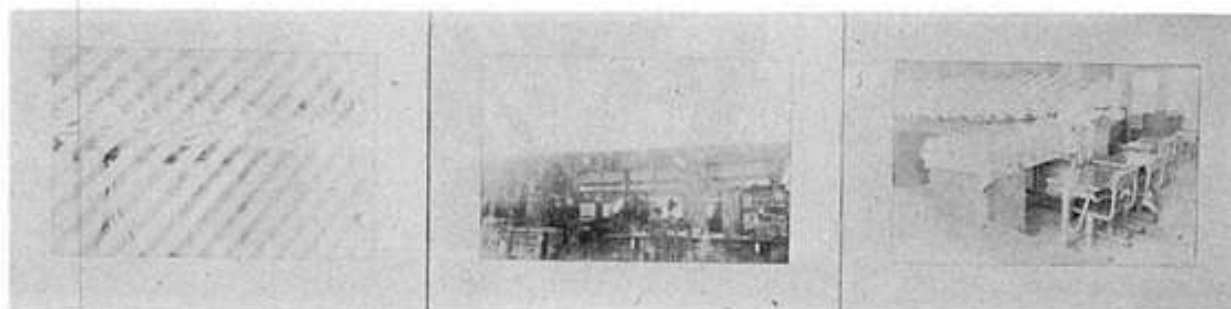
三好和義



準特選 深夜 小池良洋



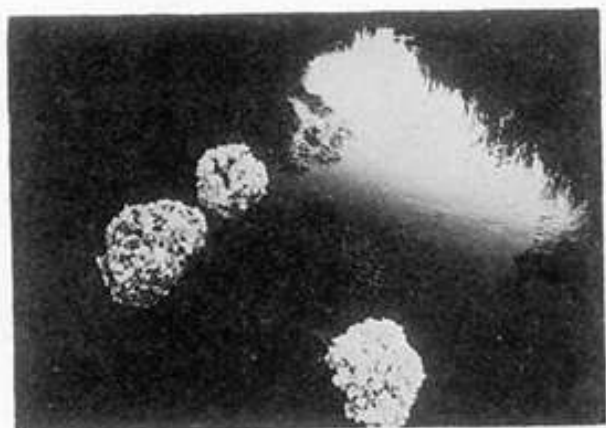
準特選 雪国 三好和義



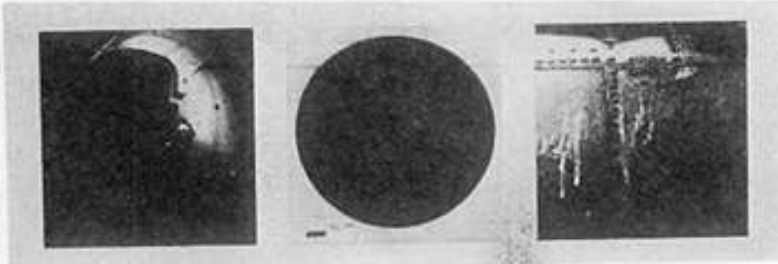
準特選

反映

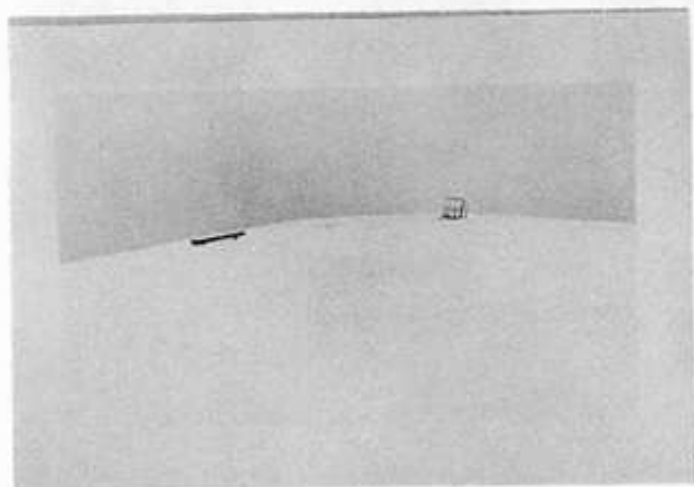
堀潤定治



準特選 あじさい 古井謙吉



準特選 防空 米津 光

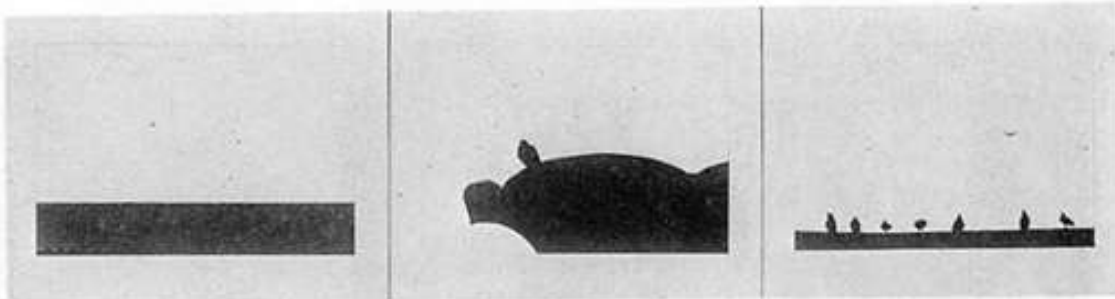


準特選 冬景 大西健一



準特選 春が来た 津田幸好

準特選
寒日
安長 剛



準特選
砂丘
古井謙吉



準特選
Young
安長 剛

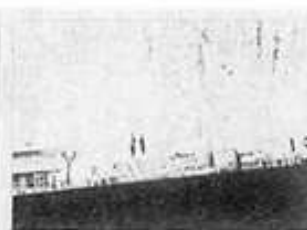


準特選
霊場恐山
古井謙吉



準特選
シラス漁
生田秀男

準特選
春の浜辺
五条昭



準特選
総選挙
吉川忠久

△招待▽

ひとり静・福島正仁
野・増田清次
室生寺初春・井上光雄
父・寺の死・木田英之
国分寺・日照・西条征二
少年の秋・藤井雅夫
みのりの秋・藤井雅夫

△無鑑査▽

阿波国分寺・武内亨
雪国のこども・楠武
ひまわり・笹田敏雄
憂愁石仏・酒井博司

△特選▽

(大賞)
北灘漁民・三好和義
海のオブジェ・楠好和義
ロマンス・三好和義
黒子(文案より)
樹林と国道・上野照文
炎・署・中川定典
現代学生像・吉川忠久
女(おんな)・山下勝正
潮(しお)

△準										特										選▽											
結	伏	藍	阿波の民家より (藍商武知邸)	飛	橋	シ	春	総	春	Young	寒	冬	深	霊	砂	あ	島	沖	雪	反	防										
見	稲			鳥	寺	ラ	の	選	が	来				場		じ	の	縄	映	空											
水	荷	染		川	堂	ス	浜	拳	た		日	景	夜	恐		い	祭	若	国	米											
					礎	漁	辺	吉	津		安	大	小			古	者	三	堀	津											
					石	生	五	川	田		長	西	池			井	好	和	完	光											
					櫛	田	条	忠	幸		剛	健	良			謙	義	治													
					瀧	秀	明	久	好			一	洋			吉															
					魏	男																									

沖繩の印象	夕映え	昼下り	白	能登の女	涼	余呉冬景	ある橋の上	吹雪の日	ヌーのド	冬の山	租谷の里	出漁	人形の楽屋	ハワイ	高校生人形遣いA B	祭りの日	競走家	祭りの印象	ボートレース	赤い服	小さな指揮者	六	連鎖	壁(窯壁)	雨後の風景	農村舞台A
庄野有	三好和義	堀潤完治	吉成百合子	村松友一	中田昌男	岸寛一	浦川禎夫	山本徳仁	一宮保治	山田和幸	越健二	山田和幸	越健二	山田和幸	越健二	山田和幸	越健二	山田和幸	越健二	山田和幸	越健二	山田和幸	越健二	山田和幸	越健二	山田和幸

雨	渴	ち	漁	深	造	漁	漁	恐	残	坐	信	自	老	浜	祭	ま	夏	し	春	朝	若	お	兄	運	片	晩	
		ん	村	浦	船	婦	婦					転										け	の				
		ど	に	の	溶							車			の	の	つ	の	じ	の		い	印				
		ん			接																						
		人	生	て	村	工	B	A	山	雪	女	仰	道	婆	女	日	り	日	ま	景	路	者	こ	弟	象	隅	秋
●																											
本	関							関					古			●	小	大				大	小	今	篠		
田	口							口					井			中	川	津				田	寺	出	原		
隆		"	"	"	"	"		潤	"	"	"	"	謙	"	"	川	英	弘	"	"		"					
敏	務							二					吉			憲	男	志				修	要	弘	元		
								郎								四											
																郎											

塔	ギ	落	尾	冬	騒	昼	親	遠	一	家	流	廃	姉	樹	蟠	黎	春	護	挽	西	飾	荒	ブ	難	し
	ャ		瀬	の	音		と	き	木								の	摩		独	り	天	ロ	波	
	ン		の	渡	直	下	仔	日	立	路	れ	業	弟	魂	(	明	プ	供	歌	の	窓	の	ム	け	
堂	プ	葉	印	し	下	り	日	立	路	れ	業	弟	魂	ん	明	ド	レ	養	娘	赤	花	海	ナ	船	
	ラ		象													リ	費		い	娘	海	ード	け		
	ー	熊		美	関		岡	佐	小	葛	小						中	庄		・		上	福		
		川		馬	口		崎	渡	池	川	原						川	田		納		野	田		
"	"	泰	"	克	昭	"	茂	健	良	正		"	"	"			定	政	"	田	"	照	一		
		仁		行	和		春	二	洋	明	治						典	勝		康		文			
																				雄					

お	駅	四	朝	あ	佐	雨	暮	夏	塔	冬	小	野	山	風	老	女	無	マ	雪	創	海	霧	砂	薦	夜	奈
	裏		食	っ	古	の		の				良						イ	の	作		浜			良	
ふ	寸	畳	五	い	川	運		な		の								カ	太	の		の	の		の	
ろ	景	半	前	日	限	会	色	り		浜	牛	犬	羊	景	人		言	！	寺	眼	辺	日	象		朝	
堀	西		城	滝	内			安		西		川			大		泉	島	美	花					三	
本	条	"	尾	山	野	"	"	長	"	野	"	"	端	"	"	"	"	村	馬	岡	"	"	"	"	好	
信	英		静	富	博			剛		弘			均		健		博	泰	益	徹					進	
之	史		子	夫						明					一		博	邦	彦							

日	二	グ	ボ	朝	部	水	う	午	渡	通	一	菊	野	猫	曉	春	お	ボ	メ	戦	海	祈	雨	吉	日	砂
人			ク			車	み	前	し	本			の		の	と		ナ	い			あ	野	曜		
の	1	サ				1		2										ム	の			が				
世																		河								
輪	界	シ	1	霧	屋	2	べ	時	場	学	棕		鳥	園		雨	ら	ス	畔	日		り	り	川	日	丘
	林	住	米	田	山	長	梯			出	北	岡					津	久				福	西	塀		
"	友	田	中	瀬	谷	昌	雅	"	"	口	川	田	"	"	"	"	田	米	"	"	"	田	村	本		
	和	貞	房	敏	昌	男	俊			雅	定	文					幸	正				利	克	信		
	彦	夫	雄	彦	稔	男	俊			彦	克	夫					好	雄				明	也	之		

雪	つ	軍	病	犬	橋	蟹	生	干	韓	駅	潮	浜	朝	刻	乱	て	プ	引	苔	休	ね	浜	ゴ	初	争	宮
の		港			の	の	潮	の	国				の			ん	ロ				ぐ	ー	夏		参	
					下	集	老	刻	老	婆	騷		海		舞	と	フ				ら	ル	の			
日	り	跡	む		生	団									虫	う	ェ	率	寺	日	へ	ン	光	奪	り	
原		矢			高			松	今					林	柴	岩	多		中	吉			青	林		
田	"	口	"	"	橋	"	"	浦	岡	"	"	"		敏	田	崎	喜	"	西	田	"	"	山	和		
忠		保			正			孝	博					之	憲	司	田		定	正			義	彦		
義		二			憲				良					資	郎	弘		雄	勝			実	雄			

夏	わかめ干し	原田忠義
松	〃	〃
行	中村真治	
雪	高橋健吾	
雪	〃	
先生	〃	
Finger	多留見敏男	
123		
ボート	石山正明	
フオリオ	中岡孝仁	
凝	山下勝正	
夏	〃	
若	〃	
街	〃	
冬	賀川泰広	
ブリッジ・コンスト	森賢一	
ラクシヨン	浅川理	
風	柿原有一	
朝	〃	
細	〃	
海	泉義雄	
宴	〃	
蔵	宮本哲雄	
チヨット	川上たかと	
交通	〃	
く	〃	
影	〃	
陽	小山晴之	
静	丸竜久	

晩	祭りの前	高野弘治
く	〃	小山正志
彼	〃	奥野健二
白	〃	橋本圭祐
妄	〃	〃
野	〃	斎藤正博
こ	〃	田村泰弘
石	〃	〃
斜	〃	〃
五	〃	〃
暮	〃	野口佳一
秋	〃	〃
路	〃	〃
砂	〃	〃
海	〃	〃

〔審査評〕

岩宮武二

(大阪芸術大学教授)

過去数回、県展の審査をしているが、今年ぐらいワクワクして審査をしたことはない。それほど質的に急激な向上が見られる。入選上位から特選までは、全国どこへ出しても通用するだろう。新しい分野における優秀作が一昨年あたりまではチラホラだったのが、今年は続々登場し、切磋琢磨(せっさたくま)した跡がうかがえる。徳島の社会

にある古い骨格から脱皮してきた感じだ。来年の県展では、今年のレベルから下がらなければ何も言うことはない。

特選、準特選に三点ずつ、入選にも五点選ばれた三好和義君は撮影時のテクニク、仕上げ時のテクニクなど文句のつけようがなく、そのキラメキに末恐しいものを感じる。特に「北灘漁民」(大賞)は三枚の組み写真に汚れた場を直接出さず、流出油事故に対する漁民の深刻さ、圧迫感をうまくとらえている。

以下、特選の山下勝正「潮」は、春潮のようなとろっとした感じ、ぬくみがアマチュア離れして出ている。「女」は、省略したトーン、アングルがいい。

上野照文「樹林と国道」は、何でもない路傍の写真だが、支えている感性の鋭さをみる。楠潤魏「海のオブジェ」は端的で、構成力(造形力)も抜群だ。中川定典「炎暑」は真夏のかま場。屋根からのシルエットと直射日光をさえぎる覆いだけの構図で、これだけの写真が撮れたことを買う。

吉川忠久「現代学生像」は、若い世代のバイタリティーが荒らいタッチの中によく表れている。口もと、ボタンをポイントに、出ていない表性に効果がある。